

日本共産党 和歌山市公議員

ひめだ高宏ニュース

No. 1200

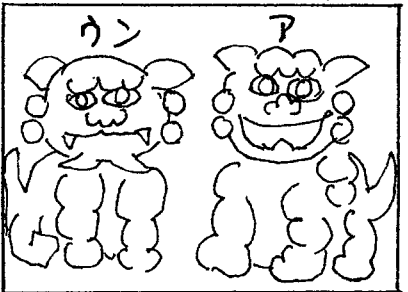
18. 5. 15

市長候補に身をおくさん

17日の日(木)活気ある住みよい和歌山をいふ会(アウイ会)は臨時総会を開催。7月20日投票の和歌山市長選挙について、①身をおくさんと政策協定を結び推薦する。②市いふ会として、共同の選挙母体となる政治団体(仮称いふ会和歌山)に参加する(しんご確認)もした。

身をおくさん今更なる政策協定

政策「協定」をきき
活気ある住みよい和歌山
市をつくる会と和歌山市長
選挙立候補予定者「身をおく
さん」は、2008年7月に
行われる市長選挙に際して、
憲法をくらしに生かして、
誰もが安心してくらしを
和歌山をめざすために下記
の政策内容について、双方
が合意した。このより、政
策協定を結びこころする。



記

- 一、清潔で公正・公平な立場で市政にたくくみ、市民職員の直撃な意見を尊重し、民主的な市政運営をすすめます。
- 一、地方自治の本旨にそとぎ住民自治・団体自治を大切に市政運営をすすめます。
- 一、平和であること、市民の基本的な権利をくらしを守ることができ、憲法の条の不戦平和の条項をしっかりと守り、憲法をくらしに生かした市政をすすめます。
- 一、子ども、高齢者、障がいのある人をはじめ、市民誰もが安心してくらしを住みます。

- みみすすむくらしをすすめ、福祉の向上をめざします。
- 一、はたらく人が安心してはたらき続けられる職場環境づくりにすすめます。
- 一、次の項目にこころをいふ。

今週のフツの人々

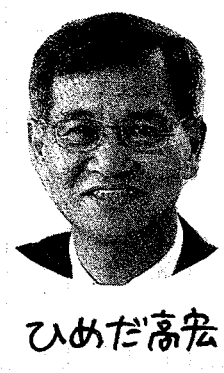
(その146)

調整は、阿叫の呼吸。

17日、加計学園問題の国会参考人質疑で、柳瀬元首相秘書官は加計学園関係者と首相官邸で3回、アベ首相の別荘で1回面会したことを認め、たもの、愛媛県や今治市職員が同席していたかどうかは「記憶にない」と答弁。不思議なのは、面会について首相には「一切報告しなかつたし、総理の指示はなかつた」との答弁。石破元大臣

早急にとりくむ具体的な問題とします。
・刑法で禁じられた賭博施設であるカジノ誘致は認めず、和歌山の自然や歴史、人を生かした観光振興にと

は「首相秘書官として首相官邸で面会したことを首相に報告しなかつたことは考えられない」と。
柳瀬元首相秘書官の答弁について、アベ首相は14日の国会で「加計学園」といった個別具体的な計はまったくしていない、「面会は問題ない」と考えている」と答弁。
参考人招致前の「調整」の中身は「阿叫の呼吸」もそれとも一心同体なので調整は不要だった?



ひめだ高宏

りくみます。

・市民の命と健康を破壊するようなら限定的削減は見直し、市民誰もが安心して療養できる環境を整えていきます。

・山口地区滝畑の産業廃棄物最終処分場建設計画や和泉山脈のメガソーラー建設計画は住民同意を大事にし、自然環境や生活環境の保全と第一にストップをかけていきます。

2008年5月5日

「ふるさと」は松坂みち子

お守り？

財布の中に大事に、しまっている一枚のお札があります。

第26回主要国首脳会議（沖縄サミット）と西暦2000年をまっかけて

活動する住みよし和歌山市をいじめ会

代表委員 南本博子

和歌山市長選挙立候補予定者 島久美子

市長選挙楽しく取り組もう

おつくる会は加盟団体で選挙の推進体制をつくり取り組みます。

○市つくる会作製のパンフレットの配布・チラシの作成
○市つくる会への問い合わせ

島久美子氏助産 和歌山信愛女子短大卒。2010年参院選和歌山選挙区に民主党から立候補。現在、共野のまちづくり協会理事長。

○島くみこさんの応援サポーターをたげまじゅう。
○島くみこさんを知っている市政懇談会を開きまじゅう。
○島くみこさんのソーラースィット・ゼラ、ポスターを活用して広げまじゅう。

して作られた2000円札です。表は守礼門、裏は源氏物語絵巻の絵と紅葉。沖縄から帰ってきたばかりの方が、ある集金の際に「この札で払ってもいいか」と出してくれたので、受け取り、お守りしました。

先日あるスーパーで使うことになった「機械が読み取れないので」と断られま



松坂みち子 (県議予定候補)

潮流

東京電力福島第一原発事故をめぐる刑事裁判が東京地裁で続いている。先日は、地震学者で原子力規制委員会の審議長代理を務めた島崎邦彦氏が証人でした。検察官の指定弁護士の間問に、はっきりに証言しました。対策を取っていれば、かなりの命が救われただけでなく、福島原発事故は起きなかったと思う。法廷は静まりました。政府の地震調査研究推進本部の委員で、「三陸沖から房総沖にかけての地震活動の長期評価」を2002年にまとめた部会長の部会長でした。

「長期評価」は裁判で大きな焦点。福島原発をめぐり三陸沖と房総沖の海溝帯のつながりについても、マグニチュード8級の地震が今後20年以内に発生する確率が20%と予測したからです。氏は公表をめぐり「事件」を振り返ります。直前に内閣府の担当者から「非常に問題が大きい」と公表取りやめを求めメールが届きました。「圧力がかわった」と。さらに、内閣府に設置された中央防災会議が「長期評価」を採用しなかったこと「非常に強引だった」と証言しました。

「長期評価」をめぐり対策が進められた。法廷は静まりました。政府の地震調査研究推進本部の委員で、「三陸沖から房総沖にかけての地震活動の長期評価」を2002年にまとめた部会長の部会長でした。

「長期評価」をめぐり対策が進められた。法廷は静まりました。政府の地震調査研究推進本部の委員で、「三陸沖から房総沖にかけての地震活動の長期評価」を2002年にまとめた部会長の部会長でした。

「長期評価」をめぐり対策が進められた。法廷は静まりました。政府の地震調査研究推進本部の委員で、「三陸沖から房総沖にかけての地震活動の長期評価」を2002年にまとめた部会長の部会長でした。

「長期評価」をめぐり対策が進められた。法廷は静まりました。政府の地震調査研究推進本部の委員で、「三陸沖から房総沖にかけての地震活動の長期評価」を2002年にまとめた部会長の部会長でした。